日本航空 0B 乗員 有志の会ニュース

2017. 5. 11 No. 17-011

HP: http://jalfltcrewob.web.fc2.com/
Mail: jalfltcrewob@gmail.com

安全で明るいJAL

乗組が話し合い解決を求める中 5月1日 JAL経営は

「年間乗務時間制限延長」を強行 変形労働時間制・長時間 深夜・時差・ロストナイトの中 現在でも乗務離脱者増加

乗員不足は明白! 更に「やむを得ない場合はこれを 超えて予定する事が有る」???

4月24日、日本航空経営は、乗員組合に対し年間乗務時間延長の勤務協定を5月1 日から強行する方針を明確にしました。

乗員組合は、話し合い解決を要求していますが、運航乗務員の勤務見直しに関する施策について」と題する本部長レターを配布しました。レターの中で、「職場の声の一つ一つについて真摯に検討したもの」とありますが、変形労働制・長時間勤務や乗務・夜間・時差・ロストナイト(就寝時間帯に勤務する為)・通勤改悪など乗務離脱者が増加する中、職場要求に応えないままの強行です。

今回の勤務見直しには、国内線4日連続勤務制限に対し「やむを得ない場合はこれを超えて予定することがある」など過労死が問題となり、長時間労働の是正が必要な世の中の声と逆行する提案となっています。

口先だけの経営目標? 事故の教訓を真に生かせ!!

4月28日に発表された中期計画の経営三目標の第一番目は以下の通りです。

「安全運航はJALグループの存立基盤であり社会的責務であることを認識し輸送分野における安全のリーディングカンパニーとして安全の層を厚くし、安全運航を堅持します。

『航空事故ゼロ、重大インシデントゼロを実現』」

具体的取り組み

- 1. 安全より(赤字は有志の会)
- ・引き続き安全目標(数値目標)に「航空事故ゼロ・重大インシデントゼロの実現」 を掲げ、17-20 中期計画では新たなアプローチを加えることによって安定的なゼロの実現を目指します。
- ・何層もの対策で事故を未然に防ぐ安全管理システムの進化、テロの脅威からお客 さまをお守りする保安管理システムの進化、事故の教訓を確実に継承し安全最優 先で行動し続ける文化の醸成などに取り組みます。

(以上)

現在、JAL経営は人員不足を認めず、熟練乗員の整理解雇を放置したまま高稼働 状況を乗り切るために、65才までの特別運航乗務員制度の実施に加えて、今回は組 合の反対を押し切って「年間乗務時間の延長」を強行した事になります。

日本航空では、1965年に組合執行委員の懲戒解雇事件後、労働条件の切り下げだけでなく、勤務改悪を行い、解雇事件の7年後に利用者国民から「伸びすぎた翼」と非難された1972年のニューデリィー・モスクワ連続事故、続いて77年アンカレッジ・クアラルンプール、82年羽田沖・上海の連続事故、そして85年御巣鷹山事故と続きました。

歴史経過を真摯に振り返れば、今回のJAL中期計画にある事故の教訓を確実に継承しは口先ばかり?と言えるのではないでしょうか。

この様な経営方針と対策で利用者国民は安心してJALを利用できるでしょうか。 真に事故を反省し、安全運航を確立しようするならば、先ず整理解雇問題を解決 し、職場の諸要求に応えることが安全対策でしょう。

リンク:乗員速報64-012参照

皆さん 2017 年度も カンパ支援・取り組み参加 宜しくお願い致します

今後の日程

* 宣伝行動・各地集会:私たちはあきらめない!!! 原告団 HP 日程参照

*マタハラ裁判:9月1日(金) 東京地裁 判決予定 和解進行協議も開始

「JAL CA マタニティ-ハラスメント是正裁判 未来の飛んでる(みらとん)ママを支える会」 会則 • 9月2日要請書 • お願い・署名用紙

*山口 宏弥氏 著書紹介: 「安全な翼を求めて」 アマゾン書評

・詳細は、枠内をクリックして御覧下さい。